

せんぼく探訪 VOL.1

仙北市には、数多くの優れた文化遺産があります。この貴重な歴史、文化、伝統を市民のみなさんが理解し後世に引き継ぐことは仙北市にとってとても大切なことです。

広報せんぼくでは、今月号からこの貴重な文化遺産や伝統、仙北市出身の偉人などを紹介いたします。

石刻千手観音像(せっこくせんじゅかんのんぞう)

平成15年6月26日 市(旧田沢湖町)指定 有形文化財

所在 田沢湖岡崎字大倉沢1(大蔵観音堂境内)

- ・石造
- ・全体高 110センチメートル
- ・観音像高 69センチメートル
- ・天和(てんな)3年(1683)6月10日建立

角館・芦名家二代盛俊の母、安昌院により今から323年前、天明3年6月10日に建立されました。

芦名家は、承応2年(1653)千鶴丸の事故死以後、お家再興を願う働きかけを行っていましたが、3年目に絶家の申し渡しを受けることとなり、会津黒川城主(鶴ヶ城)として16代盛氏の頃、東北屈指の大大名を誇った名族「芦名氏」もこの地で終焉をむかえることとなりました。



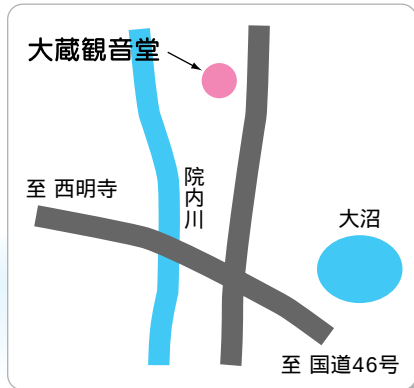
この碑裏に刻まれた天和3癸亥年6月10日は、我が子盛俊の33回忌の命日であり、我が子の供養と芦名家一族の冥福を祈願したものであったでしょう。

芦名家一族最後の人、安昌院は、人々への暖かい心配りなどきわめて心優しい女性であったといわれています。石に彫られた観音様のほほえむお顔が安昌院の優しさを、今に伝えているように見えます。

碑、表上部左右に芦名家定紋「丸に三つ引両」

右 平朝臣芦名主計頭盛俊孝母 敬白
千手観音像

左 寄進安昌院殿白峯青蓮大師為菩提也乃至法界
裏 羽州山本郡角館内院内村
天和三癸亥年
六月十日 平等利益



(仙北市教育委員会文化財課)